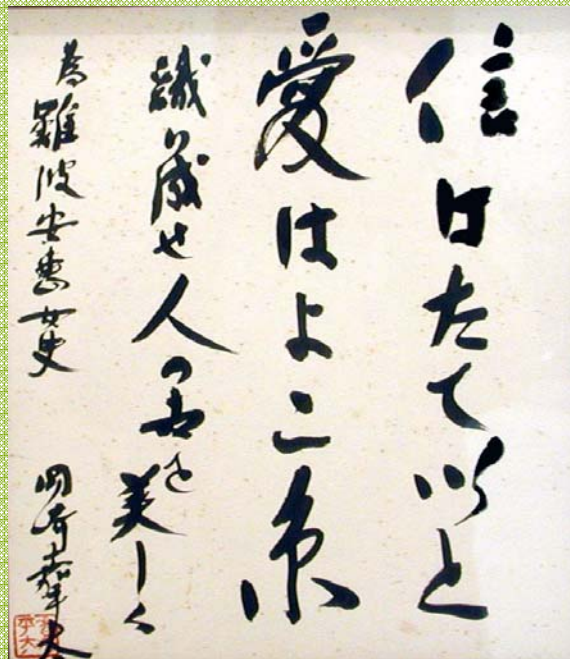


岡崎嘉平太記念館



VOL.1
2004.7

だより



岡崎嘉平太記念館に展示
(岡崎嘉平太氏姪 難波安恵氏寄贈)

私は、かねてから人間には信と愛が必要だ
と思っています。たて糸の信とよこの糸の
愛、それが織りなす社会こそ真に美しいもの
だと思います。……

ところで愛にはその場かぎりの、あれほど
うしてあんなに可愛がってくれるのだからと
いう、よりどころのない愛というものがあり
ます。根拠のない愛情、目先だけの愛情と
もいうべきものです。日本ではころんだ子供
をすぐ抱き起こしますが、ドイツではやりま
せん。起こしてやろうとすると「子供は自分
で起きるから放っておいてください」と親が
言います。この場合、自分で起きるとい
習慣をつけさせるのが親の愛情なのです。

いそいでかけ寄って抱き起こすのも愛情で
あれば、自分で起きあがるのを待つのも愛情
です。つまり愛情にはいろいろな模様がある
と思うのです。しかし根本にある信条には変
化がない。

そこで私は、信というのはどうしても貫か
なければならぬのでたて糸、愛情というの
はその時どきでいろいろな愛があるからよこ
糸にして模様を出そうというわけです。しか
もたて糸とよこ糸は、そのどちらが欠けても
布は織りあがりません。

信は徹底しなければいけない、愛は燃え上
がらなければいけない、というのが私の考え
です。

(岡崎嘉平太著「たてのいと よこの糸」
貯蓄増強中央委員会 昭和四十五年発行より)



明治30年（1897）上房郡賀陽町に生まれた岡崎嘉平太氏は、92才で逝去されましたが、生涯にわたって日中友好に尽くされ、また、財界人として多方面に活躍され、多くの業績を残されました。

岡崎氏の功績や思想・信条を多くの人々に伝えるための顕彰事業として、岡崎氏の故郷賀陽町に「岡崎嘉平太記念館」が開館して3周年を迎えようとしております。

広く国際的な視野のもとに常に信頼と愛情にあふれた岡崎氏の生き方や高い志は、時を超えて現代の私たちの心に通じ、感銘深く、継承していきたいものと思います。

多くの皆様のご支援により、入館者も3万人近くなっています。

これからも、新しい展示や、企画展、講演会等の計画をしていますので、大勢の皆様においでいただきたく、職員一同お待ちしております。

今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

岡崎嘉平太記念館 館長 光岡富佐子

展示品紹介

書斎コーナー



岡崎嘉平太記念館では、展示室の一角に書斎コーナーを設け、岡崎氏が生前に愛用していた机や椅子、文具などを、当時の形をなるべく忠実に復元しています。

机や椅子は岡崎氏が関係していた会社の廃棄扱となったものを再利用したもので、質素を旨とした氏の姿勢がうかがえます。

また電気スタンドにはメモをはさむためのクリップをいくつもつるすなどユニークなアイデアがみられます。

机上正面には、日本銀行退職記念に贈られた母・のぶさんの座像が置かれていました。岡崎氏の母への慕情がしのべられます。

寄贈品紹介

腕時計



この腕時計は、岡崎氏が最後まで愛用していたもので、時子夫人から山崎巖氏に形見として贈られました。

山崎氏は、昭和42年（1967）から岡崎氏が亡くなるまでの22年間運転手をつとめられました。

平成15年（2003）10月、墓参にこられた山崎氏から寄贈を受けました。

おかざきかへいた 岡崎嘉平太さんものしりトピックス

書齋コーナーには岡崎嘉平太さんが実際に使っていた、机やいす、本などが展示されています。岡崎嘉平太さんは、ものを大事にし、自分の身のまわりのことは自分でしていたそうです。お菓子などの包み紙も、また後で使えるようにたたんで、箱にしまっていました。



ビデオのひろば

きねんかん しごと 記念館の仕事 ~学芸員の巻①~



てんじ ようす
-展示をしている様子-

岡崎嘉平太記念館では、安原綾子さんが、学芸員の仕事をしています。

仕事の内容は、記念館の嘉平太さんの遺品を展示したり、大切に保管したりする事です。

また嘉平太さんの生き方や考え方などを、研究・調査して、みなさんに伝えたり、嘉平太さんに関係する資料を集めたりもしています。

来館者の声 — 感想ノートより —

●中国の留学生です。大変感心させられました。日中友好の先輩たち、中国の方でも、日本の方でも、一生懸命やってくれたから、私のような留学生たちはその恵を受けることができる。後輩として、先人の念を広げるように日中友好に力を尽くそう。また、つれてきてくれた、日本のお父さん、お母さんにも感謝しています。彼らは、その「よこの糸」の愛をくれて、中国の留学生は、その愛を感じている。ありがとう。

●小中学生だった頃「日中覚書貿易」というので名前だけは耳にした事のある岡崎嘉平太氏の記念館があるという事をインターネットで見つけ、岡山に来た機会に訪ねました。ビデオを含めお人柄を直接感じる事ができて、来て良かったと思っています。

●郷土の発展に、日中友好のために力を注がれた先生を尊敬しております。

お知らせ



● 新しい頒布物のご案内

岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える会 第二回講演会

A5版 51ページ 価格200円



平成15年(2003)9月27日に、吉備高原リゾートホテルにて開催した、「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える会 第二回講演会」に講師としてお招きした(財)岡山県郷土文化財団前理事長長野士郎氏並びに(学)ノートルダム清心学園理事長渡辺和子氏の講演の記録です。

紀要 第一号 岡崎嘉平太 講演集 1

A5版 84ページ 価格300円

岡崎嘉平太氏の講演記録を、所蔵資料を中心に調査・研究し、講演内容のテーマ別に講演集として発行します。

第一集目は、岡崎氏の生き方、人生観がうかがえる内容に着目して選びました。

掲載講演記録

「信は縦糸 愛は横糸 織り成せ人の世を美しく」

「相手の身になって考える一人間の最高で最低のモラルー」

「私の生涯の道を決定した先輩・友人の話」



● 岡崎嘉平太氏遺墨調査のお願い

故郷を愛し、また、多くの人々に慕われた岡崎嘉平太氏は、生前生誕の地賀陽町や全国各地にたくさんの書を遺しています。

しかし、当記念館所蔵の遺品の中には岡崎氏の遺墨は少なく、できるだけ把握いたしたく調査をしています。

つきましては、岡崎氏の書をお持ちでしたら、当記念館まで、電話またはFAXまたはEメールなどでお知らせください。



編集・発行：岡崎嘉平太記念館

〒716-1241岡山県上房郡賀陽町吉川4860-6きびプラザ内

TEL0866-56-9033 FAX0866-56-9066

ホームページ <http://www.kibicity.ne.jp/users/okazaki/>

Eメール okmh@kibicity.ne.jp